

会 告 2017.7

◇ 本会・他学会水環境関連行事一覧 ◇

| 開催期日 | 行事 | 開催地 | 案内記事掲載巻号 |
|-------------------|--|-------------|----------|
| 2017年 | | | |
| 7月 22日(土)～23日(日) | WET 2017 (Water and Environment Technology Conference 2017) | 札幌 | 本号 |
| 26日(水)～28日(金) | 第58回機器分析講習会 HPLCとLC/MSの基礎と実践 (初級者, 中級者のための実務講座) | 東京 | 40巻6号 |
| 26日(水)～28日(金) | 第41回基礎化学工学演習講座 (第3クール) | 名古屋 | 40巻6号 |
| 28日(金)～29日(土) | 第39回京都大学環境衛生工学研究会シンポジウム | 京都 | 40巻4号 |
| 8月 4日(金) | 第26回市民セミナー「水環境におけるマイクロプラスチックに関する最新の動向」 | 東京・大阪 | 本号 |
| 8日(火)～10日(木) | 第41回基礎化学工学演習講座 (第4クール) | 名古屋 | 40巻6号 |
| 13日(日)～17日(木) | 18th IWA International Conference on Diffuse Pollution & Eutrophication (DIPCON2017) | アメリカ | 本号 |
| 8月 21日(月)～23日(水) | 第21回日本水環境学会ノポイント汚染研究委員会「ワークショップ in 西条・愛媛」 | 愛媛 | 本号 |
| 24日(木)～25日(金) | 第30回におい・かおり環境学会 | 東京 | 本号 |
| 9月 11日(月)～12日(火) | 第12回人工湿地ワークショップ 2017 in 上川(美瑛・東神楽・旭川) | 北海道 | 本号 |
| 11日(月)～14日(木) | The 7 th IWA - ASPIRE Conference 2017 & Water Malaysia Exhibition 2017 国際水協会 - アジア太平洋地域グループ 2017地域会議 (クアラルンプール) | マレーシア | 本号 |
| 17日(日)～21日(木) | The International Society for Ecological Modelling Global Conference 2017 (国際生態モデリング学会) | 韓国 | 40巻5号 |
| 24日(日)～28日(木) | ISPTS2017「残留性有害物質に関する国際会議」 International Symposium Persistent Toxic Substances | 愛知 | 40巻4号 |
| 26日(火)～28日(木) | 第20回日本水環境学会シンポジウム | 和歌山 | 本号 |
| 11月 9日(木)～12日(日) | 第23回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会 | 沖縄 | 本号 |
| 15日(水)～17日(金) | 2017 International Environmental Engineering Conference (IEEC 2017) | 濟州島 (韓国) | 本号 |
| 16日(木)～17日(金) | 第31回日本吸着学会研究発表会 | 静岡 | 本号 |
| 2018年 | | | |
| 3月 15日(木)～17日(土) | 第52回日本水環境学会年会 | 札幌 | |
| 9月 16日(日)～21日(金) | IWA World Water Congress & Exhibition 2018 | 東京 | |
| 10月 15日(月)～19日(金) | 第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦 2018) | 茨城 | |

会員登録データ変更の届け出について（お願い）

住所、所属変更等、本会に登録されているデータに変更のあった場合には、ホームページの会員専用ページ (<https://www.jswe.or.jp/member/>) よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方、登録アドレスを忘れた方は、メール (member@jswe.or.jp) または Fax にてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎（4月→3月）の扱いで、原則として**中途退会はできません**のでご注意ください。

また平成25年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は、満65歳以上で、水環境関連分野に従事、または関心を有し、本会に対し功労のあった個人を対象とするもので、学会コミュニティにおいて、継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会WEBサイト (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) をご覧ください。

平成29年度学生会員の募集について

本会では、ただ今平成29年度学生会員を募集しております。入会ご希望の方は下記によりお申し込みください。

申込方法 本会ホームページ (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) からお申し込みください。

学生会員制度の概要

(1) 会員資格

大学生、大学院生、研究生等で、セミナー・講演会・年会・シンポジウムへの参加を目的とするもの。会員の有効期間は平成29年4月1日～平成30年3月31日まで。なお、**本年3月の時点で学生会員であった方でも、3月31日で会員資格が失効しています。継続希望の方は、再度、入会申し込みが必要です。学生会員の会員番号の最初の2桁は会員資格の年度（西暦2ケタ）を示します。**

(2) 会費および支払い方法

年間5,200円。支払いはお申し込みと同時に行ってください（入金確認後、入会の承認手続きを経た後に正式な会員番号をお知らせします）。

(3) 機関誌

平成28年度から、学生会員への学会誌の無償配布はなくなり、希望者に頒布することとなりました。学会誌をご希望の学生会員は、入会時に学会事務局 (member@jswe.or.jp) に希望送付先を連絡の上、学生会員用の学会誌代3,600円をご入金ください。ご入金が確認された月以降の学会誌が送付されます（バックナンバーの送付はありません）。**入会時以降の頒布希望の変更は受け付けられません。**入会申込・入金時期によっては、会誌が在庫切れとなることもありますのでご了承ください。

本会関連行事

Water and Environment Technology Conference (WET 2017)

日本水環境学会主催の国際会議“Water and Environment Technology Conference”を開催致します。会議での発表に併せて、Journal of Water and Environment Technology (JWET) への論文投稿を受け付けております。詳細は本会ホームページにてご確認ください。

主催 日本水環境学会

期日 2017年7月22日（土）～23日（日）

場 所 北海道大学 学術交流会館

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

<https://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/hall/>

交 通 JR札幌駅から徒歩10分

内 容 口頭発表とポスター発表のハイブリッド発表
テーマ（下記に限りません）

- ・ Analysis of water and environment quality
- ・ Modeling of water and environment
- ・ Treatment of water and wastewater
- ・ Restoration of contaminated environment
- ・ Hazardous chemicals and waste management

- ・ Public health and risk assessment
- ・ Environmental education and training
- ・ Water reclamation

表彰

Excellent Poster AwardをWET2017の全発表者から、Excellent Research AwardをJWETへ論文投稿した発表者から選出し表彰します。

参加費 参加費は当日受付にてお支払いください。

一般

| | Participant | Speaker |
|------------|-------------|-----------|
| Early-bird | 5,000 JPY | 5,000 JPY |
| On site | 7,000 JPY | 5,000 JPY |

学生

| | Participant | Speaker |
|------------|-------------|-----------|
| Early-bird | 3,000 JPY | 3,000 JPY |
| On site | 4,000 JPY | 3,000 JPY |

問い合わせ先

WET2017 事務局

E-mail : wet@jswe.or.jp Fax : 03-3632-5352

**第20回日本水環境学会シンポジウム
参加申し込み案内**

第20回日本水環境学会シンポジウムを下記の要領で開催いたします。各研究委員会のセッション、本部企画、特別講演会（関西支部企画）のほか、大学院博士後期課程レベルの研究奨励を目的とした若手研究紹介（オルガノ）セッション、年間優秀論文賞（メタウォーター賞）の受賞者講演、テクニカルツアーなど、多彩な企画も用意されています。非会員の方も参加できますので、大勢の方のご参加を期待しております。

1. 概要

期 日 2017年9月26日（火）～28日（木）（28日（木）はテクニカルツアー「紀の川の水環境」）

会 場 和歌山大学（〒640-8510 和歌山市栄谷 930）
(<https://www.wakayama-u.ac.jp/about/access.html>)

交 通 南海本線和歌山大学駅から徒歩約20分
JR和歌山駅からバスで約30分

2. 内容

特別講演会「紀の川の水環境」（関西支部企画）

参加申し込み、および参加費は不要

26日（火）午前（9:00～12:30）

- 1) 大滝ダム 角 哲也氏 京都大学
- 2) 紀の川の灌漑 西山孝樹氏 日本大学
- 3) 紀の川大堰 駒口誠治氏

国土交通省近畿地方整備局

若手研究紹介（オルガノ）セッション（発表審査）

26日（火）午前

年間優秀論文賞（メタウォーター賞）受賞者講演

26日（火）17:10～17:50

研究委員会、本部企画、支部企画セッション

26日（火）午後（13:30～17:00）

水処理システムの革新に向けた取り組み

（産業排水の処理・回収技術 研究委員会）

省エネ・低炭素化に資する嫌気性微生物処理技術

（嫌気性微生物処理研究委員会）

湿地・沿岸域の環境動態と生態系の理解に向けて

（湿地・沿岸域研究委員会）

将来の水環境の変化と水供給の課題

（将来の水環境変化に対応した

水供給システム研究委員会）

環境技術実証事業で実証した水質浄化等技術

（本部企画）

電気化学的技術の環境プロセスへの応用

（電気化学的技術研究委員会）

環境汚染物質とMS分析

（MS技術研究委員会）

いますぐできる網羅解析

（微生物生態と水環境工学研究委員会）

27日（水）午前（9:00～12:30）

健康関連微生物制御の新技术・新展開

（水中の健康関連微生物研究委員会）

紫外線的水処理技術のミカタ

（紫外線を利用した水処理技術研究委員会）

あらためて身近な生活環境を考える

（身近な生活環境研究委員会）

ノンポイント汚染研究の設計概念と手法

（ノンポイント汚染研究委員会）

農産業に関わる水・バイオマス利用技術の新たな展開

（農産業に関わる水・バイオマス循環技術研究委員会）

27日（水）午後（13:30～17:00）

紀の国、水の国－紀の国を育む水とその歴史・文化－

（関西支部セッション）

流域規模での化学物質管理：測定手法と影響評価

（水環境と洗剤研究委員会）

有機性排水処理における自動制御システム導入による

高度処理電力削減 WIN-WIN 国際化

（生物膜法研究委員会）

膜の適用拡大に向けた最新技術動向

（膜を利用した水処理技術研究委員会）

生態毒性試験の標準化

（バイオアッセイによる安全性評価研究委員会）

熱帯亜熱帯地域における水処理技術の特性と展望

（熱帯・亜熱帯地域水環境研究委員会）

土壌地下水汚染問題の最新動向

（土壌地下水汚染研究委員会）

システムとして評価することを考える

（システム解析研究委員会）

懇親会 9月26日(火) 18:00~20:00

和歌山大学 GENKI 食堂, 講演会場隣

テクニカルツアー「紀の川の水環境」

期日 9月28日(木) 8:30~17:00

参加費 2,000円(予定), 昼食・保険料等

内容 巨大ダム(大滝ダム:紀の川上流)による河川水質への影響, 工業用水・飲料水の確保のための環境保全型の堰(紀の川大堰:紀の川下流), 平安時代から続く紀の川の灌漑水路(紀の川中流)について, 技術的な観点から紀の川の上流から下流まで巡検して議論を深めます。水環境学会誌7月号特集は「紀の川の水環境」であり, 本テクニカルツアーの背景理解の一助となる情報を提供します。

募集人数 35名(なお, 定員に達し次第, 申し込みを締め切らせていただきます。)

申し込み方法 2017年9月4日(月)までに, 氏名, 所属, 連絡先(住所, 電話およびE-mail)を明記し, 下記宛メールでお知らせください。件名に「日本水環境学会テクニカルツアー」とご記載ください。

問い合わせ先: 第20回シンポジウムテクニカルツアー 担当(和歌山大, 谷口)

E-mail: excursion@jswe.or.jp

3. 参加申し込み案内

会場準備の都合上, なるべく予約申し込みをしてください。すでに研究発表を申し込まれた方も, 改めて参加申し込みが必要です。なお, 学生会員とは, 学会に本年度の学生会員として登録を済ませた方の意味です。

(1) シンポジウム参加費および懇親会参加費

| シンポジウム参加費 | 予約申込 | 当日申込 |
|------------|---------|---------|
| 本会会員(不課税) | 5,000円 | 6,000円 |
| 学生会員(不課税) | 3,000円 | 4,000円 |
| 非会員(税込み) | 18,000円 | 19,000円 |
| 学生非会員(税込み) | 8,000円 | 9,000円 |
| 懇親会費*(税込み) | 3,500円 | 4,000円 |

*参加者に同伴して懇親会に参加する家族(小学生以下)は無料

(2) 予約申込方法

下記要領により, インターネットを利用して申し込み, 期日までに参加費を振込んでください。

<http://www.jswe.or.jp/event/symposium/>

(3) 予約申込期限

申し込みのメ切りは, 8月28日(月) 24:00です。それ以降は当日申込扱いとなります。

(4) 予約申込時の参加費振込

参加費を8月末日までに指定口座に振り込んでください。振込人名義に申込番号も記載してください。名義が異なる場合や申込番号が記載できない場合は別途ご連絡をお願いします。9月8日(金)までにご入金を確認で

きない場合は, 予約申込みがキャンセルされますのでご注意ください。なお, お振込後, 入金を確認できるまで銀行振込で1~3日, 郵便振替(ゆうちょ銀行への振込を含む)で2~8日かかることがありますので, 余裕をもってご送金ください。

振込先銀行: 三菱東京 UFJ 銀行市ヶ谷支店

普通預金 口座番号: 4948527

名義: シャ)ニホンミズカンキョウガ ッカイネンカイグチ

郵便振替※: 00180-5-564127

加入者名: (公社)日本水環境学会

※通信欄に申込番号を記載してください。

(5) 参加証/講演集引換券の送付

ご入金を確認後メールにてお知らせします。また, そのメールが参加証/講演集引換券となりますので, それを印刷してご持参ください。なお, 複数名で一括申込みされた場合は, お手数ですが参加者は各自で印刷したものをご持参願います。

4. ホテルと交通手段について

宿泊施設の案内・斡旋等行いませんので, 各自で手配願います。

5. 託児施設

学内に託児施設を開設します。ご利用をご検討の方は, takuji@jswe.or.jp までご連絡ください。

6. 連絡・問合せ先

(公社)日本水環境学会 シンポジウム係

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

Tel: 03-3632-5351 Fax: 03-3632-5352

E-mail: nenkai@jswe.or.jp

第26回市民セミナー

「水環境におけるマイクロプラスチックに関する最新の動向」

海洋ごみの多くがプラスチックであるが, 分解性が低く, 環境中に長く留まることが指摘されてきたが, 近年, プラスチックが細片化されたマイクロプラスチックの存在が明らかとなってきた。マイクロプラスチックは海洋中ではごく低濃度でしか存在しない有害性の高い化学物質を吸着し, 濃縮することも明らかになりつつあり, 摂取した魚や鳥などにこれらの有害な化学物質が移行することも分かってきた。しかし, マイクロプラスチックの水環境中から検出, 定量することは大変難しく, 世界的な汚染実態や水環境中における動態, 生物や人への影響については明らかになっていない事が多い。本セミナーではマイクロプラスチックに関する最新の研究成果を最先端で活躍する4名の講師から話題提供を頂く。

本セミナーはテレビ会議システムにより, 東京と大阪で同時に開催します。

主催 日本水環境学会
期日 2017年8月4日(金) 10:50~16:30
場所 東京会場：地球環境カレッジホール(いであ
 (株)内)(東京都世田谷区駒沢)
<http://www.gecollege.or.jp/gec/gec.htm#02>
 大阪会場：いであ(株)大阪支社 ホール
 (大阪市住之江区南港北)
http://www.ideacon.jp/contents/company/osaka_new.htm

プログラム

10:20~ 受付
 10:50~ 開会挨拶
 11:00~ プラスチックと化学物質汚染
 東京農工大学農学部
 高田秀重氏(東京会場)
 12:00~ 昼休み
 13:00~ 漂着物の現状とモニタリングの課題
 愛媛大学工学部 日向博文氏(東京会場)
 14:10~ マイクロプラスチックの海域汚染の状況
 九州大学大気海洋環境研究センター
 磯辺篤彦氏(東京会場)
 15:20~ マイクロプラスチックの淡水域汚染の状況
 京都大学大学院地球環境学堂
 田中周平氏(大阪会場)

16:20~ 閉会挨拶
 ※講師の都合等で一部変更となる場合があります。

参加費(税込, 資料代含む)

一般 3,000円, 大学生 1,000円, 高校生以下無料

定員 250名(東京会場 150名, 大阪会場 100名)

申込方法 FAX, E-mail またはハガキに①参加者氏名(フリガナ)②会員・非会員の別③会員の場合は会員番号④希望受講会場⑤連絡先(所属団体名, 住所, 電話・FAX 番号および E-mail)をご記入の上, 下記宛お申し込みください。なお, 定員に達した場合は受付を終了させていただきます。また, 参加費を7月28日までにお振り込みください。入金を確認後, 参加証(ハガキ)をお送りいたします。

参加費振込先

三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店
 (普通) 0754950
 (公社) 日本水環境学会セミナー口
 シヤ) ニホンミズカンキョウガツカイセミナーグチ

申し込み・問い合わせ先

(公社) 日本水環境学会 セミナー係 戸川
 〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7
 グリーンプラザ深川常盤 201号
 Tel: 03-3632-5351 Fax: 03-3632-5352
 E-mail: togawa@jswe.or.jp

**第12回人工湿地ワークショップ2017 in 上川
 (美瑛・東神楽・旭川)**

主催 日本水環境学会東北支部人工湿地研究会,
 農研機構東北農業研究センター
共催 日本水環境学会北海道支部
期日 2017年9月11日(月), 12日(火)
場所 道の駅あさひかわ・会議室
 旭川市神楽4条6丁目1-12 Tel: 0166-61-2283

プログラム

9月11日(月) 現地見学会 12:45~17:30
 美瑛町: バイオガス発電の消化液を浄化する伏流
 式人工湿地
 東神楽町: 酪農ふん尿を固液分離ろ過し, 分離液を
 浄化する伏流式人工湿地
 交流会 19:00~
 9月12日(火) 研修会・事例研究発表会 9:15~15:30
 9:15~11:15 研修会
 11:30~12:30 事例研究発表会
 13:30~15:30 事例研究発表会

なお詳細につきましては日本水環境学会東北支部HP(詳細 URL)をご覧ください。

参加申し込み方法 E-mailにてお申し込みください。

*詳細は下記 URL をご覧ください。

参加申込締切 2017年8月11日(金)

参加費 無料

詳細 URL <http://jswetohoku.web.fc2.com/>

問い合わせ先・申し込み先

東北工業大学 矢野篤男
 Tel/Fax: 022-305-3961 E-mail: yano-t@tohtech.ac.jp
 または農研機構東北農業研究センター 加藤邦彦
 Tel: 019-643-3464 Fax: 019-641-7794
 E-mail: katokuni@affrc.go.jp

**第21回日本水環境学会ノンポイント汚染研究
 委員会「ワークショップ in 西条・愛媛」**

主催 日本水環境学会ノンポイント汚染研究委員会
期日 2017年8月21日(月)~23日(水)
場所 愛媛県西条市

スケジュール

8月21日(月)
 12:30 JR 西条駅集合なし
 講演会場(地域創生センター西条)
 13:00 ワークショップ(I)
 公開講演会「水の都西条の水環境と今後の展望(仮題)」
 (1) 西条市の水文環境の特徴 高瀬 恵次
 (愛媛大学名誉教授・石川県立大学特任教授)
 (2) 西条市の水質環境の特徴 徳増 実
 (元西条市生活環境部環境衛生課長)

(3) 総合討論

- 15:30 フィールドワーク (I)
アサヒビール西条工場見学
17:00 夕食 (アサヒビール西条工場にて)
19:00 ワークショップ (II)
学生による研究発表とディスカッション

8月22日 (火)

- 午前 フィールドワーク (II) 西条市上流部 (石鎚山系の森林・河川) での水質調査
午後 フィールドワーク (III) 西条市東部地下水 (うちぬき自噴井戸等の水質調査)
16:00 ワークショップ (III) グループディスカッション
17:30 懇親会 (地域創生センター西条のレストラン)
19:30 ワークショップ (IV) グループディスカッションの意見発表会

8月23日 (水)

- 午前 フィールドワーク (IV) 西条市西部地下水 (水田・畑地帯) の水質調査
13:00 頃 解散 (JR 西条駅まで御案内します)

※スケジュールは、今後、若干の変更可能性有り。

参加費 社会人 8,000 円 学生 3,000 円 (資料代・現地交通費を含む。懇親会費、食費、宿泊費は別。)

宿泊費 地域創生センター西条 (2泊3日 (朝食付き) で 4,000 円程度)

申し込み締め切り 2017 年 7 月 21 日 (金)

定員 40 名

申し込み・問い合わせ先

治多伸介 (愛媛大学大学院農学研究科)

Tel/Fax : 089-946-9963

E-mail : haruta@agr.ehime-u.ac.jp

佐藤祐一 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

Tel : 077-526-4044 E-mail : sato-y@lberi.jp

ノンポイント汚染研究委員会ホームページ URL

http : www.jswe-nonpoint.com

第 23 回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会

本研究集会は地下水・土壌汚染の実態・原因・経路の調査から、汚染物質の移動機構の解明、汚染による影響やリスクの評価、汚染の防止対策・修復技術・修復評価、地質等に起因する自然由来の汚染や放射性物質による汚染に関する様々な課題についての国内最大規模の研究集会として、研究成果や事例発表、意見交換や技術交流、人材育成や学習の場としての機能を果たして参りました。毎年、100 件を超える研究発表等や特別講演、企業展示などが行われ、大勢の方々にご参加いただいております。

このたび第 23 回の研究集会を下記のとおり開催することとなりました。今回は、公開シンポジウム「地下水・

土壌汚染対策による土地・水資源の利活用と地域振興に向けて」や沖縄県における地下水および土壌汚染関連の現地見学会も企画しておりますので、多くの皆様に、ご発表やご参加を頂きますようご案内申し上げます。

主催 日本地下水学会 (主管学会)、日本水環境学会、廃棄物資源循環学会、地盤工学会、土壌環境センター

期日 2017 年 11 月 9 日 (木) ~12 日 (日)

場所 沖縄県男女共同参画センター「ているる」大ホール他 (沖縄県那覇市西 3-11-1)

内容 (予定)

11 月 9 日 (木)、11 月 10 日 (金)

口頭発表とポスター発表とを組み合わせた研究発表、企画シンポジウム、企業展示他

11 月 10 日 (金) 懇親会

11 月 11 日 (土) 公開シンポジウム

11 月 12 日 (日) 現地見学会

※内容は変更になることもありますので土壌環境センターの HP (詳細 URL) で確認ください。

参加申し込み方法 土壌環境センターの HP 上で必要事項を入力してお申し込みください。(詳細 URL)

事前参加申込締切 2017 年 10 月 6 日 (金)

参加費 一般 : 9,000 円 (11,000 円)

学生 : 3,000 円 (4,000 円)

懇親会会費 : 5,000 円 (6,000 円)

※括弧内は当日受付の場合

詳細 URL <http://www.gepc.or.jp/kenkyu/23rd/>

問い合わせ先 第 23 回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会事務局 久保木 千102-0083 東京都千代田区麴町 4-5
KS ビル 3 階

(一社) 土壌環境センター内

Tel : 03-5215-5955 Fax : 03-5215-5954

IWA 関連行事

The 7th IWA – ASPIRE Conference 2017 & Water Malaysia Exhibition 2017 国際水協会 – アジア太平洋地域グループ 2017 地域会議 (クアラルンプール)

主催 : The Malaysian Water Association (MWA), Asia Pacific Regional Group (ASPIRE) The International Water Association (IWA)

期日 : 2017 年 9 月 11 日 (月) ~14 日 (木)

場所 : Kuala Lumpur Convention Centre

日程 (予定) :

- YWP ワークショップ (9 月 10 日)
- ウェルカムレセプション (9 月 11 日)
- 基調講演、一般講演、展示 (9 月 11 日~13 日)

- ・ガラ・ディナー (9月12日)
- ・閉会式 (9月13日)
- ・視察 (9月14日)

参加費

| 支払日 | 一般 | | 学生 |
|---------|--------|-----|-----|
| | IWA 会員 | 非会員 | |
| 4月15日以前 | 620 | 760 | 350 |
| 9月10日以前 | 715 | 875 | 350 |
| 現地 | 775 | 945 | 350 |

詳細 : <http://www.aspire2017.org.my/>

18th IWA International Conference on Diffuse Pollution & Eutrophication (DIPCON2017)

主催 Specialist Group of Diffuse Pollution, IWA
 期日 2017年8月13日(日)~17日(木)
 場所 UCLA Luskin Conference Center,
 Los Angeles, USA
 問い合わせ先 E-mail : iwadipcon2017@hsseas.ucla.edu
 URL : <http://www.iwadipcon2017.org/>

他学会関連行事

第30回におい・かおり環境学会

主催 におい・かおり環境協会
 期日 2017年8月24日(木)~8月25日(金)
 場所 文京学院大学 本郷キャンパス
 (東京都文京区向丘1-19-1)
 詳細 URL <http://orea.or.jp/about/gakkai.html>
 問い合わせ先 (公社)におい・かおり環境協会
 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場
 2-14-2 新陽ビル1106号
 Tel : 03-6233-9011 Fax : 03-6233-9011
 E-mail : info@orea.or.jp

2017 International Environmental Engineering Conference (IEEC 2017)

主催 大韓環境工学会 (KSEE)
 期日 2017年11月15日(水)~17日(金)
 場所 International Convention Center (ICC) Jeju
 詳細 <http://www.ieec2017.org/>

第31回日本吸着学会研究発表会

主催 日本吸着学会
 協賛 日本水環境学会ほか
 期日 2017年11月16日(木)~17日(金)
 場所 静岡市民文化会館
 〒420-0856 静岡市葵区駿府町2番90号
 申し込み方法 メールにてお問い合わせください。

参加申込締切 2017年9月1日(金)
 参加費 日本吸着学会・協賛学会会員 : 5,000円(官・学), 7,000円(産), 1,500円(学生)

詳細 URL <http://www.j-ad.org/index.html>

問い合わせ先

静岡理工科大学理工学部物質生命科学科 山崎 誠志
 〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2
 Tel : 0538-45-0167 Fax : 0538-45-0110
 E-mail : adsorption31@gmail.com

お知らせ

第9回(平成29年度)とうきゅう環境財団
 社会貢献学術賞受賞候補者推薦について

候補者対象 日本の環境分野において学術的, 社会的に特に顕著な業績を挙げた研究者(個人・共同・団体, 外国籍で国内で研究されている方, ただし企業は除きます)。

社会貢献学術賞 本賞1件 : 賞状および賞金50万円

応募方法 学会からの推薦が必要です。
 推薦希望者は所定の推薦書用紙に必要事項を記載の上, 2017年7月31日(月)までに学会事務局にご提出ください。

問い合わせ先 (公財)とうきゅう環境財団
 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-16-14
 渋谷地下鉄ビル5F
 Tel : 03-3400-9142 Fax : 03-3400-9141
 URL : <http://www.tokyuen.or.jp/>

りそなアジア・オセアニア財団
 平成29年度環境事業
 環境プロジェクト助成募集

テーマ アジア・オセアニア諸国や地域における水や緑をテーマにした自然環境の保護や整備を目的とする事業。

助成対象 アジア・オセアニア諸国や地域における豊かな緑ときれいな水を守る事業。当該地域ですでに萌芽的な活動が行われ, 応募者がすでに何らかの形で活動に関与している事業。

助成金額 1人あたり50万円~100万円

応募の方法 財団所定の「申込書」に記入の上, 書留にて送付。

募集期間 8月31日(木)(必着)

*詳細は下記HPをご覧ください。

応募書類提出先・問い合わせ先

(公財)りそなアジア・オセアニア財団
 〒541-0051 大阪市中央区備後町2-1-1
 第2野村ビル5F
 Tel : 06-6203-9481 Fax : 06-6203-9666

E-mail : info@resona-ao.or.jp

URL : <http://www.resona-ao.or.jp/>

東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成 候補者推薦について

1. 東レ科学技術賞

対象：本会に関する分野で、学術上の業績が顕著な方、学術上重要な発見をした方、効果が大きい重要な発明をした方、技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献した方。2件。

賞：1件につき金メダルおよび副賞賞金500万円。

2. 東レ科学技術研究助成

対象：本会に関する分野で、国内の研究機関において、

自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、かつ今後の研究成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者（原則として推薦時45歳以下）。

助成金額：総額1億3千万円。

1件3千万円程度まで、計10件程度。

*詳細はHP (<http://www.toray-sf.or.jp/>) をご覧ください。

推薦方法 学会推薦を要します。応募を希望される方は本会事務局にお問い合わせください。本会への申請書類の提出期限は9月8日（金）といたします。

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム (J-STAGE)」に掲載しています。<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>